

強者の戦略

2018年度 東大地理 第2問〔問題編〕

東大ではちょっと珍しい「海域をはさんだ地域のつながり」に関する出題です。こういった問題の場合は地誌的な感じの出題が多くなりそうですが、本問はそうではなく、運輸を中心に、知識問題と思考力を問う問題がバランス良く出題されています。難易度は少し高いと思いますが、今の力でどれだけ太刀打ちできるのか、この1週間で頑張ってみてください。

【2018年度 東京大学 文科 第2問】

世界で見られる、海域をはさんだ地域のつながりに関する以下の設問A～Bに答えなさい。解答は、解答用紙の(ロ)欄を用い、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問A

国際海運(外航海運)の形態には、あらかじめ航路や日程を定めて運航される定期船と、それを定めないで運航される不定期船とがあるが、定期船の多くは、コンテナを用いて貨物を運ぶコンテナ船である。一方、不定期船の多くは、大量の液体を運ぶタンカーや、鉱石や穀物などの梱包されていない貨物を運ぶ船舶である。それらは、ばら積み船と総称されている。ばら積み船のうち、タンカーや鉱石専用船は非常に大型のものが多い。

(1) 表2-1は、2000年と2014年のいずれかで、コンテナ取扱量が世界第5位までの港湾について、両年次の世界順位と2014年のコンテナ取扱量を示している。この表を見ると、2000年に世界1位であった香港は、2014年には4位になったのに対し、2000年に2位であったシンガポールは2014年でも2位と順位を保っている。両港でこのような違いが生じた理由として考えられることを、下記の語句をすべて用いて、2行以内で述べなさい。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

製品 中継 経済発展

(2) 表2-2は、世界における主要なばら積み船輸送を、品目毎に出発国(地域)と到着国(地域)の組み合わせとして示している。表中の(ア)(イ)はそれぞれ1つの国である。その国名を(ア)ー○のように答えなさい。

強者の戦略

(3) 2016年6月に、9年の工期を要したパナマ運河拡張工事が完了した。これまでより運河の幅や水深が大きくなり、非常に大型の船舶以外は通行が可能になった。これによって、東アジアの輸出入品輸送はどのような影響を受けると考えられるか。輸出品と輸入品の例をあげ、下記の語句をすべて用いて、あわせて3行以内で述べなさい。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

コンテナ船 ばら積み船 陸上輸送 輸送費 アメリカ大陸

表2-1

2014年 世界順位	2000年 世界順位	港 湾 名	2014年取扱量 (千 TEU)
1	6	上 海	35,285
2	2	シンガポール	33,869
3	11	深 圳	24,037
4	1	香 港	22,283
5	—	寧 波	19,430
6	3	釜 山	18,678
11	5	ロッテルダム	12,297
13	4	高 雄	10,590

TEUは20フィートコンテナ換算の個数。

「—」はデータなし。

国土交通省『海事レポート』各年版による。

強者の戦略

表 2—2

(2014 年)

品名	出発国(地域)	到着国(地域)	輸送量(百万トン)
原油	中東	中国	160
	中東	日本	143
	中東	韓国・台湾	141
鉄鉱石	(ア)	中国	548
	(ア)	日本	83
	(ア)	韓国・台湾	67
	(イ)	中国	173
	(イ)	日本	37
原料炭	(ア)	東アジア	89
	北アメリカ	東アジア	32
一般炭	インドネシア	東アジア	187
	インドネシア	インド	133
	(ア)	東アジア	213
穀物	北アメリカ	東アジア	66
	南アメリカ	東アジア	53

国土交通省『海事レポート 2016』による。

強者の戦略

設問B

インド洋を取り巻く地域では、古くから交易や文化的交流、人の移動が盛んに行われてきた。

- (1) イスラームは、西アジアのアラビア半島に起源を持つ宗教であるが、西アジアには、イスラーム大国とされるイランも含め、ムスリム人口が1億を超える国は存在しない。これに対し、東南アジアには、2億を超える世界最大のムスリム人口を擁するA国、南アジアには1億を超えるムスリム人口を擁するB国、パキスタン、バングラデシュが存在する。A国、B国の国名を、A-O、B-Oのように答えた上で、イランとA国の、国の統治のあり方の違いを、宗教の位置づけに注目して2行以内で述べなさい。

- (2) インド洋を取り巻く地域には、南アジア以外にも、インド系住民が人口の数%~10%弱を占め、それなりの存在感を示す国々が存在する。東南アジアのマレーシアとシンガポール、アフリカ大陸部の南アフリカ共和国等がそれに該当する。マレーシアや南アフリカ共和国にインド系住民が多数居住するようになった歴史的背景を、下記の語句をすべて用いて、2行以内で述べなさい。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。
さとうきび ゴム

- (3) インド洋を取り巻く国々は、1997年に「環インド洋連合(IORA)」を組織し、貿易・投資の促進など域内協力推進を図っている。東南アジア諸国からアフリカ東南部インド洋沿岸諸国に対して、今後、どのような分野での貿易や投資が活発になっていくと考えられるか。両地域の経済発展の状況を踏まえ、その理由とともに、2行以内で述べなさい。